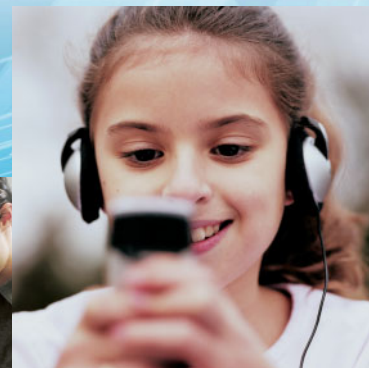


第10期 中間事業報告書

平成17年4月1日～平成17年9月30日





代表取締役社長 飯田 桂子

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第10期中間事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶させていただきます。

経常損失の計上や、その他拡大・成長に向けた新しいサービスなどへの先行投資などにより、経常利益は48百万円となり、結果増収減益になりました。

当中間期においては、主に以下の二つのサービスを新たにスタートいたしました。一つは現在急速に市場が拡大している携帯電話向けゲーム配信です。これは当社の主力事業であるIP事業における新しいサービス展開となります。もう一つは、(株)エフエム東京や新たに加えたグループ会社との協業ビジネス展開です。これらの新たな事業展開により、下期以降の長期的な事業拡大や収益力の強化をめざしてまいります。

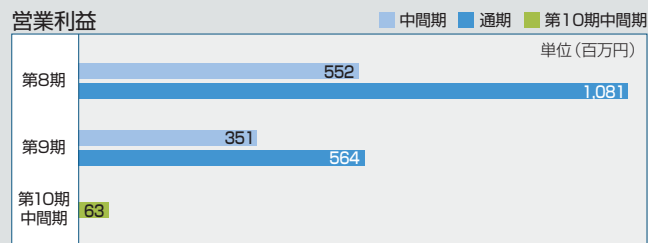
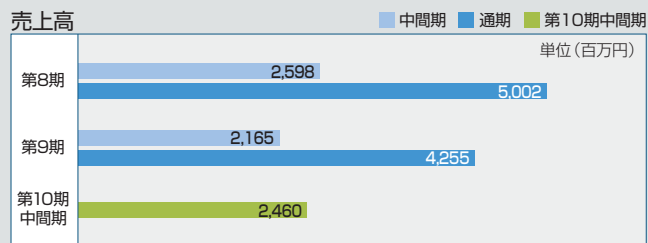
拡大・成長に向けた事業投資を引き続き行いました。

第10期中間期におきましては、主力事業である国内携帯電話向け有料情報配信サービス事業（インフォメーションプロバイダー事業。以降はIP事業）の競争が激化するなか、コマース事業の売上増加、CM楽曲制作最大手の(株)サーティースとCM楽曲の権利ビジネスを行う(株)ユナイテッド・ワールド・ミュージックの2社をグループに加えたことなどにより、連結売上高では前年同期比13.6%増の2,460百万円となりました。しかし、グループ2社がグループ化にともなう会計基準の変更などを行った影響による

主力分野である携帯電話向け有料情報配信サービス事業の強化を行いました。

当社では、画像や映像などの高い処理技術を活かして、携帯電話向けコンテンツを配信するIP事業を主力分野として成長を続けてまいりました。現在も当社の連結売上上の約7割を占める主力事業です。しかし近年、携帯電話向け有料情報配信サービス市場は、市場の競争が激化し、既存ユーザーが減少しております。そこで、近年急速に普及している第三代携帯電話に対応した、より高機能・高品質なサービス提供を実現する有料コンテンツの拡充に取り組みました。当中間期では、先述した携帯電話向けゲーム配信

業績ハイライト



をスタートしましたが、今後もさまざまな音楽配信ビジネスの開始を予定しており、より一層IP事業の強化を行い、安定収益基盤の確立に努めてまいります。

(株) エフエム東京をはじめグループ会社との協業ビジネスは順調に進行しています。

IP事業の強化を行う一方で、2004年10月に資本業務提携を行った(株) エフエム東京との協業ビジネスについても、順調に進行しております。

2005年4月からは、(株) エフエム東京の携帯電話向けサービス「Music Village (ミュージックヴィレッジ)」の運営を開始しました。2005年4月から『MOTHER MUSIC RECORDS』(10月からは『SCHOOL OF LOCK!』という番組名に変更)という、番組を聴きながら番組内で紹介した楽曲がダウンロードできたり、アーティストの最新情報が配信されるなど、放送と通信が連動したモバイルサイトを展開。10代のメインリスナーを中心に大変な反響を呼び、ユーザー数やメールマガジンの登録者数などが増加するなど、協業ビジネスに確かな手ごたえを感じております。2005年度内にはラジオ番組連動型ショップ(コマースサイト)もスタート予定です。

また、新たにグループ化した(株) サーティースと(株) ユナイテッド・ワールド・ミュージックとも連携することで、ラジオ局という放

送メディアとの融合に欠かすことのできない音楽ビジネスへの本格参入をめざしております。収益への貢献は今後となりますが、グループ2社が制作・管理する楽曲をFMラジオやCMで放送し、当社がダウンロード課金サービスを行うなど、新しいビジネス展開に向け、着実に準備を進めております。

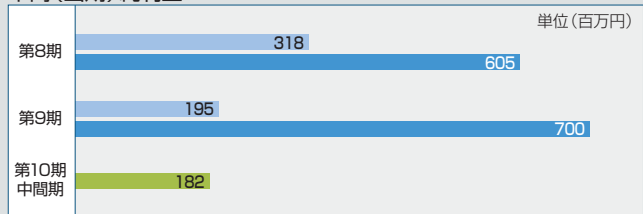
放送・通信の連携を基に、音楽・マルチメディア・インタラクティブサービスを提供するグループシナジーの創造へ

下期以降は、国内携帯電話向け有料情報配信サービス事業での新しいサービスや、(株) エフエム東京との協業ビジネスなどが成長路線へと本格的にシフトすることから、収益への貢献を見込んでおります。そして、新たに2社が仲間入りしたシングノシステムジャパングループのシナジーを活かし、通信・放送・音楽の融合した新たなビジネス構築をめざします。

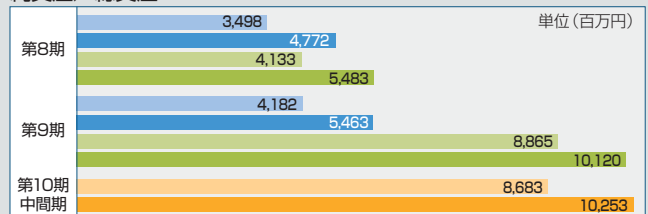
また、株主の皆様だけではなく、さまざまなステークホルダーの方々の信頼やご期待に応えるよう、企業体質の強化と企業価値の向上を図ってまいります。

今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中間(当期)純利益



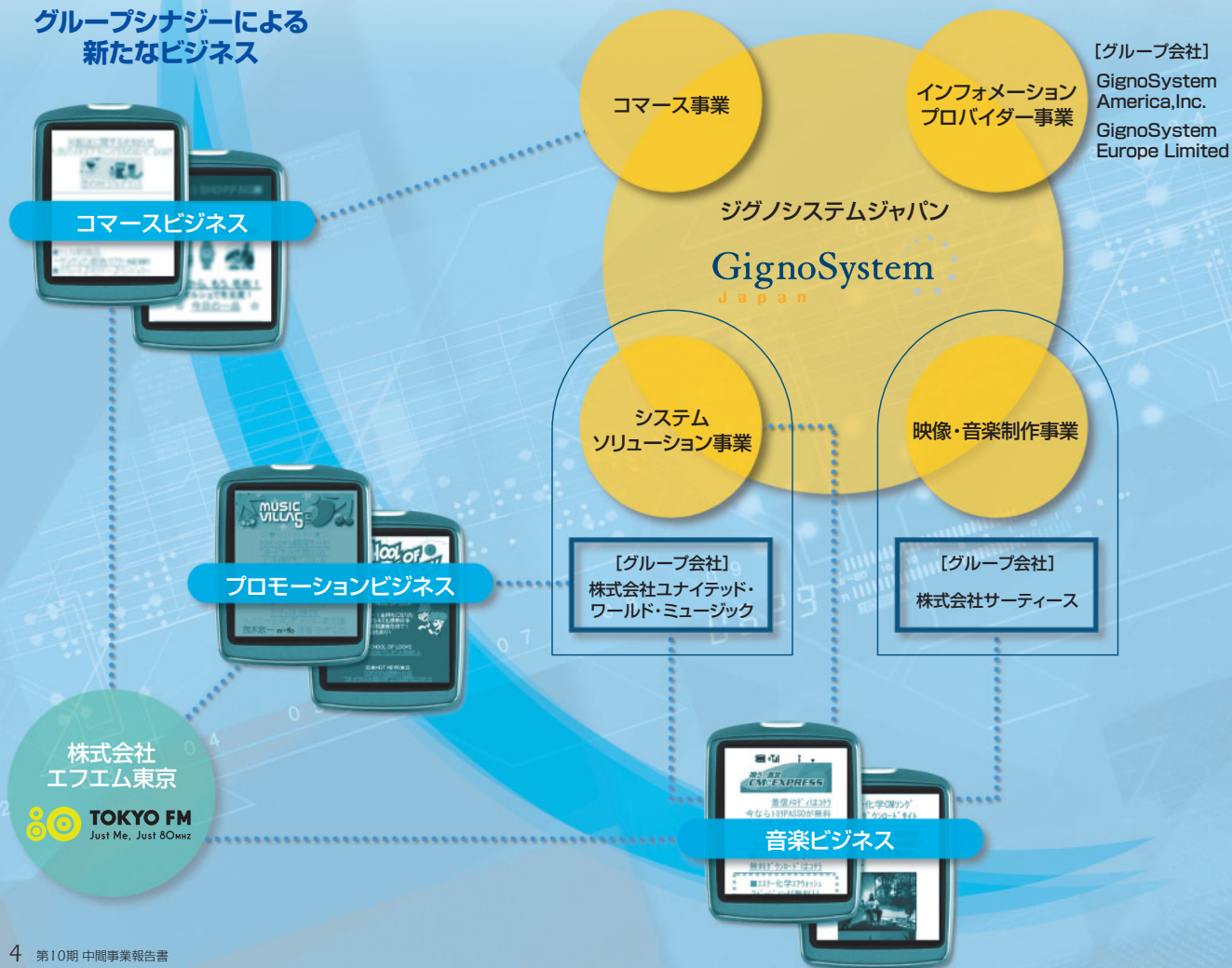
純資産/総資産



通信・放送・音楽を融合した新たなグループシナジーの創造——

(株)エフエム東京との協業などジグノシステムジャパングループのシナジーを活かして、
コマースやプロモーション、音楽などの新たなビジネスを拡充していきます。

グループシナジーによる 新たなビジネス

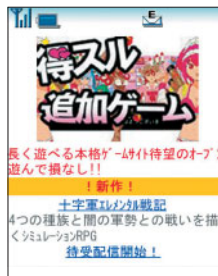


インフォメーションプロバイダー事業

国内市場向け

第三世代携帯端末の普及による定額制利用者の増加にとともに、高機能・高品質なコンテンツ・サービスが求められています。とくに、携帯電話向けの音楽配信やゲーム配信は高い成長が見込まれており、当社ではゲーム開発や音楽配信用の権利獲得に取り組んできました。2005年7月にはゲーム配信を開始、12月スタート予定で音楽配信サービスの準備も行うなど、新たなサービス展開に向けて積極的に取り組んでいます。

当中間期内にサービスを開始したゲームコンテンツ



■「得スル追加ゲーム」

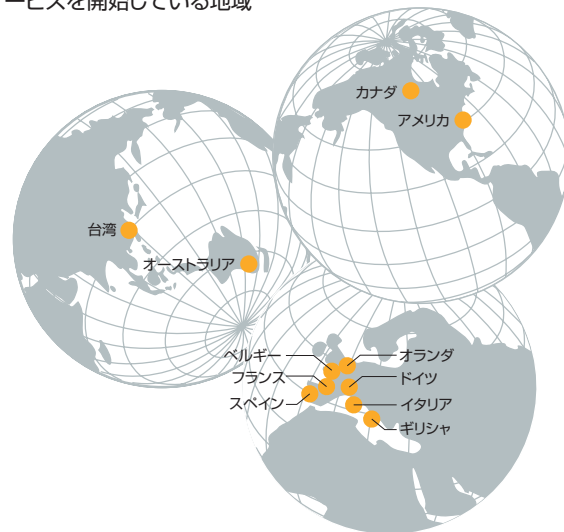


■「微少女マニアックス」

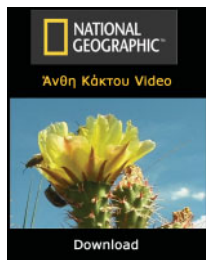
海外市場向け

海外事業においては、現在11か国でサービスを提供しています。当中間期内には、イタリアやカナダ、ギリシャにおいて新サービスを開始し、提供サイト数も拡大するなど、着実に事業を拡大しています。今後は日本で開発したゲームコンテンツを海外においても配信するなど、さらなる事業拡大を図っていきます。

サービスを開始している地域



■スペインテレフォニカ・モビレス社「Expo Arte」
2005Copyright GignoSystem Europe, Ltd.
Copyright ©2000-2004 ePicturez Co.,Ltd
All Right Reserved



■ギリシャ・コスモテ社
「National Geographic
(ナショナル ジオグラフィック)」
2005Copyright GignoSystem Europe, Ltd.
©1996-2005 National Geographic Society.
All rights reserved.

システムソリューション事業

携帯向け画像自動変換ASPサービスのクライアントが順調に増加しているほか、大手コンビニエンスストアの携帯向けキャンペーンサイトの開発・受託運営などの案件を獲得するなど、順調に推移しています。

2005年4月から(株)エフエム東京のモバイルサイト「Music Village (ミュージックヴィレッジ)」の運営を開始。ラジオ番組と連携したサービスを行い、ユーザー数やメールマガジンの登録者数が順調に増加しています。今後もラジオ番組との連携を強化し、コンテンツやサービスの拡充を図っていきます。

株式会社ユナイテッド・ワールド・ミュージック

主な事業内容はCM楽曲の権利マネジメントであり、(株)サーティースや他のCM楽曲制作会社の楽曲など、CM楽曲業界全体の50%以上の権利を管理しています。こうした権利マネジメントや着メロ・着うた®の制作を行うほか、モバイルキャンペーンの受託開発に取り組んでいます。

取り組みの一例として、エステー化学(株)「エアウォッシュ」、「トイレの消臭力」のテレビCMで使用した楽曲の着信メロディ、着うた®を(株)ユナイテッド・ワールド・ミュージックが運営する携帯電話向け3キャリア公式着信メロディサイト「直営CM♪EXPRESS」および、着うた®配信サイト「唄う!直営CM♪EXPRESS」にて、2005年11月8日より無料配信を開始しました。このサイトは、エステー化学(株)のPCサイト「エステー宣伝部ドットコム」(<http://www.st-sendenbu.com/>)と連動しており、PCサイトと携帯電話公式サイトの両方からアクセスが可能のため、プロモーション効果をさらに高めています。

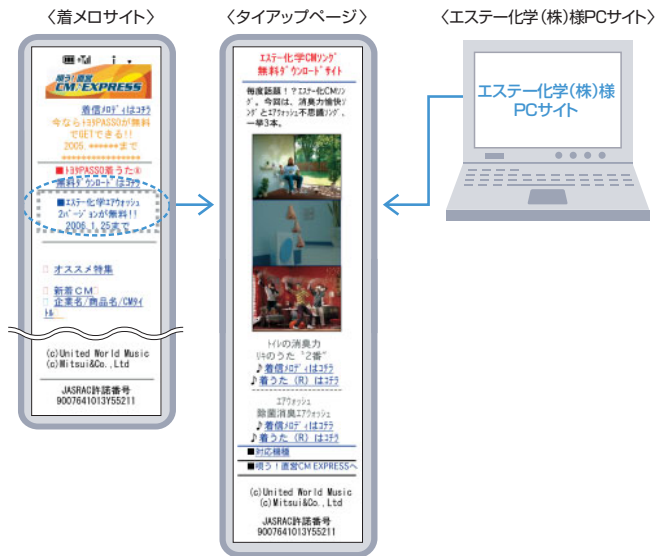
今後も新たなサービスの強化を行い、事業の拡大を図っていきます。

(株)エフエム東京との協業事例



- 総合音楽情報モバイルサイト「Music Village」
- 2005年10月にスタートした番組連動型モバイルサイト「SCHOOL OF LOCK!」

11月8日スタート エステー化学(株)様キャンペーン



コマース事業

「ヴィレッジヴァンガード」や「ガールズ★プラネット」など、当社が運営するコマースサイトは、ヒット商品を生み出し、好評をいただいています。課金決済システムの多様化などにより、eコマースの利用が今後増加し、市場の拡大が予想されることから、取扱い商材の拡大に取り組む一方、顧客にとってユーザビリティの高いモバイルコマースサイトの構築や、顧客データベースを活用したマーケティング活動に取り組むなど、効率的・効果的なコマース事業を展開していきます。また、今後、(株)エフエム東京とのラジオ番組と連携したコマースサイトをスタートさせる予定です。



女性向けショッピングサイト「ガールズ★プラネット」



「ヴィレッジヴァンガード」でヒットした「ホテルキーホルダー」と「顔文字マグカップ」

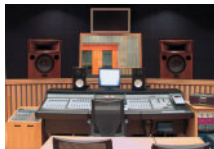
映像・音楽制作事業

広告業界における顧客のニーズが高度化・複雑化しており、モバイル・ブロードバンドや地上波デジタル放送など、当事業を取り巻く環境も大きく変化しています。このような環境のもと、2005年4月にグループ化しました(株)サーティースを中心として、CM楽曲制作強化のために優秀な人材の採用を積極的に行いました。

株式会社サーティース



主な事業内容はテレビCMの楽曲制作であり、大手クライアントの楽曲制作を行うなど実績は多数あり、業界内でも高いシェアを獲得しています。今後は(株)エフエム東京との連携を図り、CM楽曲制作を通して発掘したアーティストの曲をFMで放送し、着うた®、着うたフル®で配信するなど、シググループのシナジー効果を狙っていきます。



サーティースCM楽曲の一例

クライアント名	作品名
ANA	全日空エコ割 ANA
キヤノン販売	EOS Kiss DIGITAL
リクルート	フォレント
ヒューマンアカデミー	アカデミー 試着室篇
サッポロビール	Draft One 「さらに広がる」篇
味の素	ほんだし
アサヒ飲料	WONDA SHOT & SHOT
資生堂	マキアージュ
ユニリーバ	Lux Super Rich Treatment “Journey篇”
日産自動車	MURANO Arte-Cabernet
資生堂薬品	Q10AA
コーセー	エスプリーク

中間貸借対照表

単位(千円)

項目	期別	
	第9期中間期 (平成16年9月30日現在)	第10期中間期 (平成17年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	4,095,703	8,811,218
現金及び預金	2,796,366	7,213,355
受取手形・売掛金	1,187,025	1,269,391
たな卸資産	4,901	12,094
その他	118,535	326,351
貸倒引当金	△11,125	△9,973
固定資産	1,367,975	1,442,658
有形固定資産	131,421	246,123
器具及び備品	111,669	137,205
その他	19,752	108,917
無形固定資産	81,503	619,581
連結調整勘定	—	544,446
その他	81,503	75,134
投資その他の資産	1,155,050	576,953
投資有価証券	1,004,628	416,962
その他	150,421	159,991
資産合計	5,463,678	10,253,876

単位(千円)

項目	期別	
	第9期中間期 (平成16年9月30日現在)	第10期中間期 (平成17年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	980,327	1,244,290
買掛金	595,520	655,846
短期借入金	—	125,359
未払法人税等	148,237	202,145
賞与引当金	37,346	37,129
その他	199,222	223,810
固定負債	300,676	190,346
長期借入金	—	159,854
繰延税金負債	300,676	—
その他	—	30,492
負債合計	1,281,004	1,434,636
少数株主持分		
少数株主持分	—	135,408
資本の部		
資本金	1,126,896	3,342,995
資本剰余金	1,054,054	3,270,153
資本準備金	754,054	2,970,153
その他資本剰余金	300,000	300,000
利益剰余金	1,538,912	2,067,262
株式等評価差額金	463,314	59
為替換算調整勘定	△502	3,360
資本合計	4,182,674	8,683,831
負債、少数株主持分及び資本合計	5,463,678	10,253,876

中間損益計算書

単位(千円)

項目	期別	
	第9期中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	第10期中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
売上高	2,165,675	2,460,850
売上原価	1,257,109	1,614,961
売上総利益	908,566	845,889
販売費及び一般管理費	557,185	782,850
営業利益	351,381	63,038
営業外収益	3,964	8,498
受取利息	774	607
受取配当金	2,000	2,020
その他	1,189	5,869
営業外費用	17,202	22,728
新株発行費	—	4,032
持分法による投資損失	16,526	—
その他	676	18,695
経常利益	338,142	48,808
特別利益	32,126	360,915
固定資産売却益	—	—
投資有価証券売却益	32,126	360,915
特別損失	24,480	41,677
固定資産除却損	24,480	—
役員退職慰労金	—	41,677
税金等調整前中間純利益	345,788	368,045
法人税、住民税及び事業税	143,850	188,910
法人税等調整額	6,177	1,090
少数株主損失	—	△4,893
中間純利益	195,760	182,937

中間キャッシュ・フロー計算書

単位(千円)

項目	期別	
	第9期中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	第10期中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	345,788	368,045
減価償却費	42,348	50,425
営業権償却	—	3,333
連結調整勘定償却	—	36,497
受取利息及び受取配当金	△2,774	△2,627
支払利息	—	7,526
持分法による投資損失	16,526	—
固定資産除却損	24,480	—
新株発行費	—	4,032
投資有価証券売却益	△32,126	△360,915
売上債権の増減額	108,506	6,066
たな卸資産の増減額	△4,901	2,357
仕入債務の増減額	△57,158	△20,913
その他	△31,575	△203,320
小計	409,114	△109,494
利息及び配当金の受取額	2,774	2,619
利息の支払額	—	△7,526
法人税等の支払額	△170,428	△329,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,460	△443,566
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,613	△25,777
無形固定資産の取得による支出	△8,802	△1,757
営業権の譲受による支出	△33,333	—
投資有価証券の取得による支出	—	△100,433
投資有価証券の売却による収入	49,000	399,015
連結範囲の変更に伴う 子会社株式の取得による支出	—	△256,128
貸付金の回収による収入	—	3,574
その他の投資活動による収入	—	175
その他の投資活動による支出	△886	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,636	18,668
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△11,040
長期借入れによる収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	—	△212,390
株式の発行による収入	—	10,834
配当金の支払額	△100,709	△138,892
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,709	△271,487
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2,572	2,145
V 現金及び現金同等物の増減額	110,687	△694,239
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,885,679	7,095,514
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,996,366	6,401,274

個別財務諸表

中間貸借対照表

単位(千円)

項目	期別	
	第9期中間期 (平成16年9月30日現在)	第10期中間期 (平成17年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	3,924,208	8,251,326
現金及び預金	2,678,936	6,780,043
売掛金	1,174,518	1,044,444
商品	4,901	12,094
前渡金	11,151	160,285
前払費用	34,710	38,081
繰延税金資産	28,932	35,400
その他	2,183	189,317
貸倒引当金	△11,125	△8,338
固定資産	1,546,522	1,544,796
有形固定資産	128,603	116,849
器具及び備品	110,441	100,862
その他	18,162	15,986
無形固定資産	81,385	54,285
投資その他の資産	1,336,533	1,373,661
投資有価証券	1,021,306	416,962
子会社株式	165,691	879,620
その他	149,535	77,079
資産合計	5,470,730	9,796,122
負債の部		
流動負債	937,425	912,857
買掛金	586,010	517,022
未払金	140,356	138,035
未払法人税等	148,237	201,298
賞与引当金	37,346	32,872
その他	25,476	23,628
固定負債	300,676	-
負債合計	1,238,102	912,857
資本の部		
資本金	1,126,896	3,342,995
資本剰余金	1,054,054	3,270,153
資本準備金	754,054	2,970,153
その他資本剰余金	300,000	300,000
資本準備金減少差益	300,000	300,000
利益剰余金	1,588,363	2,270,057
中間未処分利益	1,588,363	2,270,057
株式等評価差額金	463,314	59
資本合計	4,232,628	8,883,265
負債及び資本合計	5,470,730	9,796,122

中間損益計算書

単位(千円)

項目	期別	
	第9期中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	第10期中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
経常損益の部		
営業損益の部		
営業収益		
売上高	2,151,140	1,980,363
営業費用		
売上原価	1,251,232	1,236,299
販売費及び一般管理費	516,765	559,283
営業利益	383,142	184,780
営業外損益の部		
営業外収益	3,524	5,193
受取利息	281	2,411
受取配当金	2,000	2,000
その他の営業外収益	1,243	781
営業外費用	676	12,822
新株発行費	-	2,570
その他の営業外費用	676	10,252
経常利益	385,990	177,150
特別損益の部		
特別利益	-	360,915
固定資産売却益	-	-
投資有価証券売却益	-	360,915
特別損失	24,480	41,677
固定資産除却損	24,480	-
役員退職慰労金	-	41,677
税引前中間純利益	361,509	496,387
法人税、住民税及び事業税	143,850	190,701
法人税等調整額	6,177	3,286
中間純利益	211,481	302,400
前期繰越利益	1,376,882	1,967,656
中間未処分利益	1,588,363	2,270,057

株式分布状況 (2005年9月30日現在)

株式の状況

会社が発行する株式の総数	1,316,000 株
発行済株式の総数	465,860 株
株主数	5,910 名

大株主

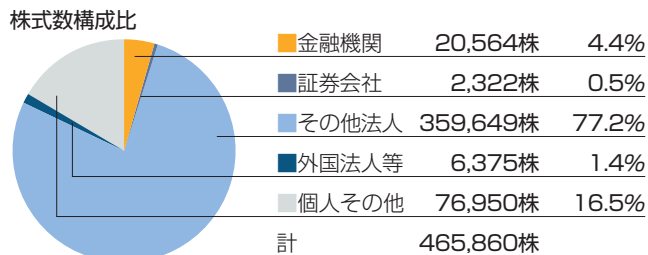
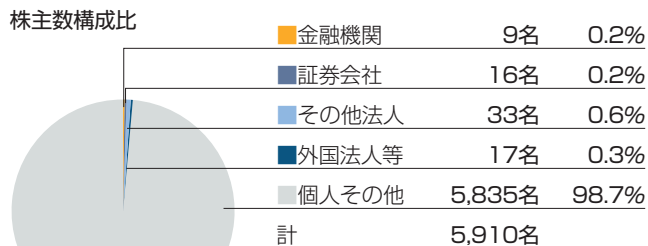
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社エフエム東京	250,000	53.66
株式会社ブラザークリエイト	97,301	20.88
株式会社リコー	9,000	1.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	5,833	1.25
大阪証券金融株式会社	5,503	1.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,054	0.87
日興シテイ信託銀行株式会社投信口	2,915	0.62
飯田 桂子	2,245	0.48
大島 康弘	2,200	0.47
ソフトバンク株式会社	1,921	0.41

(注) 議決権比率は、小数点第3位以下を切り捨てております。

会社概要 (2005年9月30日現在)

社名	ジグノシステムジャパン株式会社
本社	〒102-0083 東京都千代田区麹町1丁目12番地 メディアセンター TEL. 03-3556-7737
設立	平成8年12月
資本金	3,342,995,472円
主要業務	インフォメーションプロバイダー事業(国内・海外) システムソリューション事業 コマース事業、映像・音楽制作事業
従業員数	連結 130名 単体 96名

株式分布状況



取締役および監査役

取締役会長	小針俊郎
代表取締役社長	飯田桂子
取締役	吉浜直人
取締役	平 一彦
取締役	小倉隆志
常勤監査役	近藤 恵
監査役	木田正幸
監査役	岡田巨弘
監査役	関田好久

株主メモ

決算期	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
名義書換代理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番地11号 各種お問い合わせ 0120-232-711(通話料無料) 各種手続用紙のご請求 0120-244-479(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	大阪証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞

当社は、決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ (<http://www.gignosystem.com/kessan>) に掲載しております。

I n f o r m a t i o n

本社を移転しました。

当社は平成17年10月3日に、本社を移転しました。
新オフィスの住所は下記の通りです。

【新本社住所】

〒102-0083 東京都千代田区麹町1丁目12番地 メディアセンター
※メディアセンター7・8階になります。
※当社総合受付は8階になります。
※なお、登記上の本店所在地も上記住所に変更となりました。

GignoSystem
Japan

ジグノシステムジャパン株式会社



環境に優しい植物性大豆インキを使用しております。



古紙配合率100%再生紙を使用しております。